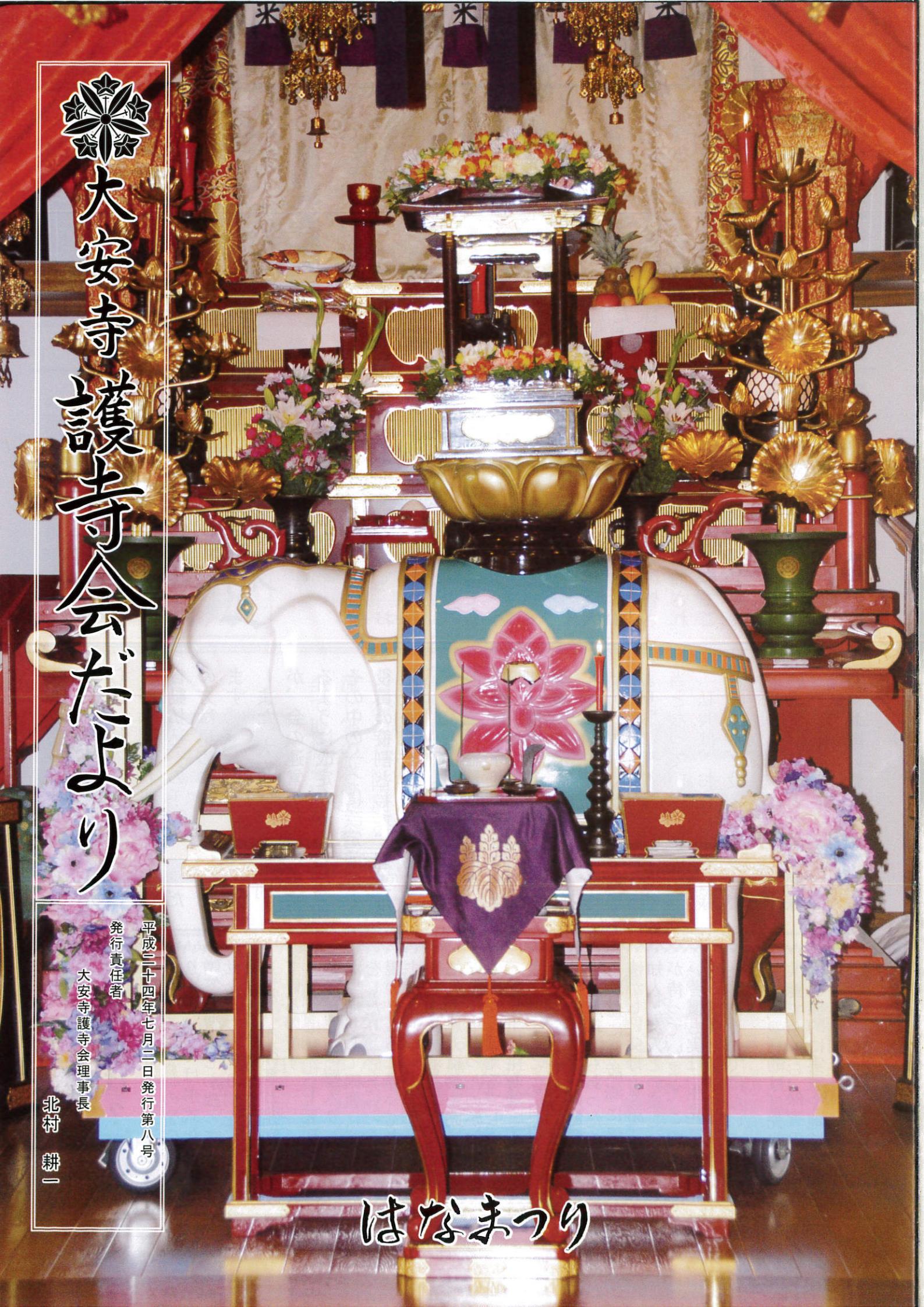


大安寺護寺会だより

平成二十四年七月二日発行第八号
発行責任者
大安寺護寺会理事長

北村 耕一

はなまつり





平成ニチノ年上半期の活動

大安寺護寺会

理事長 北村耕一

大安寺護寺会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、護寺会に対しまして、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

この「大安寺護寺会だより」も、お陰様で九回目の発行を迎えることが出来大変うれしく思っています。提寺大安寺」の様子や、年間の行事についても詳しく

紹介されていますので、会員の皆様にとりまして、お寺がより身近に感じられるようになつたのではないでしようか。どうぞ一度でも多くお寺に足を運んでいただけるようお待ちしています。

さて、平成二十四年度大安寺護寺会総会が去る一月三十一日、地区幹事の皆さんのご出席のもと開催されました。審議案件すべてご承認いただき無事終了致しましたことを、ご報告させていただきます。

審議案件の中でも振込票による会費納入の

振込手数料は護寺会負担でしたが、平成二十五年度からは、納入者負担と云うことが承認されました。口座自動払込への手続きがまだの方は早めにお願いいたします。

また“大安寺護寺会会則”が、会の運営が円滑に出来るように改定されました。

その中の一つに改定前は、役員の役割として“理事は、会の運営と設営等へ協力する”ことでしたが、今回の改定で・総務部・会計部・広報部・行事部・施設管理部・備品管理部が置かれ、理事の方々はそれぞれの部に所属して活動することになります。この“護寺会だより”的の発行は広報部の担当となっています。

私共は、お寺と会員皆様とのパイプ役として少しでもお役に立てればと思っています。何卒これまで同様のご理解ご支援のほどよろしくお願い致します。

『お盆の帰省の由来は?』

日本には夏の「お中元」と暮れの「お歳暮」の習慣があります。今では形式化してしまったが、親のところに帰つて孝行をします。つまりこの日は、生き玉は生身魂とも書くと知間の贈答の習慣が、やがて玉習慣は、昔のお盆の「生見玉」という行事と非常に似ています。それは盆札、十五日札として、例えば嫁入りした娘が里帰りして両親に贈り親のところに帰つて孝行をします。親子をが物を贈る習慣は、昔の「お中元」と似ています。つまりこの日は、生き玉は生身魂とも書くと知間の贈答の習慣が、やがて玉習慣は、昔のお盆の「生見玉」という行事と非常に似ています。それは盆札、十五日札として、例えば嫁入りした娘が里帰りして両親に贈り親のところに帰つて孝行をします。親子をが物を贈る習慣は、昔の「お中元」と似ています。

自己紹介



大安寺内

押見 直哉

この度、この護寺会だよりにて、檀信徒の皆様にご挨拶の機会を頂きまして誠に有難うございます。

私は、今から三十年前の大学進学時に実家を離れ、今年の一月に恵庭に戻つて参りました。その間はお正月に帰省するくらいで、檀信徒の皆様におかれましては、ほとんどお会いすることが無かつたため、この機会に自己紹介を兼ねてご挨拶をさせて頂きたいと思ひます。

に先代住職の次男として、大安寺に生まれました。小学校六年生の時に住職である兄と一緒に「出家得度式」を行いました。そして、中学生・高校と進み大学進学時に恵庭を離れ、京都で大学生活の四年間を過ごしました。大学卒業後は東京の一般企業に就職し、主に営業事務に従事して昨年までの約二十六年間、東京でひとりお寺とは無縁の生活をしてきました。

護寺会並びに檀信徒の皆様、お寺に関してはまだ分からぬ事だらけですが、今後とも大安寺共々宜しくお願い申し上げます。

なります。勤めていた会社は私にとつて申し分ない程良い会社なのですが、このまま定年までサラリーマンを続けて、家業の手伝いを全くしないでよいもののなかどうかと、年を重ねていかたびに考えるようになり、ついに一大決心をして、今年の一月に恵庭に戻つて参りました。

そして、現在は恵庭幼稚園でバスの運転と事務の仕事をしております。

今後は会社で長年行つていた事務処理の経験を生かして、大安寺と護寺会の事務処理の方でもお手伝いが出来ればと考えている所でございます。

この形は、鎌倉時代に伝えられた禅宗だけの作り方なのです。この須弥壇ひとつをとっても、その時代によつて仏具の作り方が変わつてきただけであります。また曹洞宗では「上堂」という法要の時に、住職がこの須弥壇に上がることがあります。これは、仏さまと同じ場所に立つて、仏さまに代わつて教えを示すという大事重要な意味があります。こうした法要も、禅宗だけのやり方のものです。

この法要のために、正面中央か左右に階段が付いているのも、禅宗の須弥壇の特徴です。

なります。勤めていた会社は私にとつて申し分ない程良い会社なのですが、このまま定年までサラリーマンを続けて、家業の手伝いを全くしないでよいもののなかどうかと、年を重ねていかたびに考えるようになり、ついに一大決心をして、今年の一月に恵庭に戻つて参りました。

そして、現在は恵庭幼稚園でバスの運転と事務の仕事をしております。

今後は会社で長年行つていた事務処理の経験を生かして、大安寺と護寺会の事務処理の方でもお手伝いが出来ればと考えている所でございます。

この形は、鎌倉時代に伝えられた禅宗だけの作り方なのです。この須弥壇ひとつをとっても、その時代によつて仏具の作り方が変わつてきただけであります。また曹洞宗では「上堂」という法要の時に、住職がこの須弥壇に上がることがあります。これは、仏さまと同じ場所に立つて、仏さまに代わつて教えを示すという大事重要な意味があります。こうした法要も、禅宗だけのやり方のものです。

この法要のために、正面中央か左右に階段が付いているのも、禅宗の須弥壇の特徴です。

平成二十六年七月までのお寺の行事

元朝・大般若祈祷会

平成二十四年一月元旦、午前0時から大安寺では一年の始まりにあたり、人類の幸福・世界平和・仏法興隆・家門繁榮等を祈願し、今年も大勢の参詣の方には「大般若札」をお渡し致しました。



二月三日午後六時より大安寺本堂において、除災を祈り追儺のご祈祷を行い、本厄・前後厄・合格・進学・交通安全・身体堅固・家内安全・商売繁盛の祈願を致しました。

本堂では大勢の本厄・前後厄・合格・進学祈願の方によつて豆まきが行されました。

厄払い追儺会



二月十五日午後一時よりお釈迦様のご命日（入滅）です。本堂において涅槃団を掲げて、お釈迦様を偲び、し涅槃団子をお供えして無病息災を願いました。

参詣者には涅槃団子をお持ち帰りいただきました。



釈尊涅槃会

春季彼岸会



三月二十日午後一時より大安寺本堂において檀信徒の先祖供養と合わせて水子供養も行いました。大安寺住職による「諸行無常の中を生きる」についてお話をありました。

河の向こう岸
生死の海を渡つて到達する

花まつり（表紙写真）
五月八日は「花まつり」を行いました。お釈迦様のご誕生を誕生仏に甘茶をかけてお祝い致しました。
お釈迦様の本当の名前は、「ゴータマ・シッダーラルタ」と言うのです。



秋尊降誕会



秋尊降誕会（花まつり）の前に大安寺本堂において厳かに在家得度式が行われました。

在家得度式

精進料理の元祖は、8世紀半ば、中国より仏教が伝来してきた折りに、仏教思想の「肉食禁忌」が、源とされています。その後、鎌倉時代に入り、曹洞宗の開祖 道元禅師により、食を作るも頂くのも修行の一環とされる禪林思想により、真の「精進料理」が確立しました。後に、茶道のもてなしと想によっての「懐石料理」への影響も深い様です。

殺生を戒める仏教の教えに由来し、肉類・魚介類を用いず、穀類・豆類・野菜類の食材で調理します。栄養面でもタンパク質・脂質・ビタミン・ミネラル類に富んだ優れた料理といえます。

また、代わりの料理として、野菜類のみで料理したがんもどき・いしたけのアワビもどき・豆腐のきじ焼き・こんにゃくのたぬき汁やさしみなど、修行僧達の逸品です。

『精進料理と
曹洞宗開祖
道元禅師』



教区護持会総会出席 檀信徒研修会

五月十八日（金）・十九日（土）の二日間、登別温泉で曹洞宗北海道第二宗務所第二教区護持会総会と檀信徒の研修会に大安寺から住職 押見 俊哉 監査 鏡 貢 理事 小玉 進吉 理事 佐々木八一が参加し、研修をしてまいりました。



坐禅については昨年の大安寺護持会だより第六号で押見清純さんが、具体的に説明されました。色々な作法が多くあります。一度やってみれば出来るものです。

多くの方に坐禅をおすすめ致します。

これから坐禅の予定日
・十月一日（月）
午後三時～午後四時三十分
・十一月一日（木）
午後三時～午後四時三十分
・十二月一日（土）
午後三時～午後四時三十分

坐禅のつどい

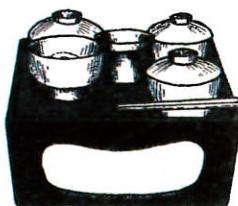


読経・写経のつどい

御住職が読経・写経の集いを始めたのが平成二十二年からで今年で三年目をむかえました。多くの方の参加をお待ちしています。

命日やお盆・法事の時にお供えする本膳。毎日お供えする事が出来ればそれにこした事はありません。

お膳の手前に箸、左に飯椀、右に汁椀、奥の左に平椀（煮物）、右に高壺（香の物）、中央に壺（あえ物）を並べ、一汁三菜の精進料理を盛り付け終つたら仏前に箸が向くようにお供えする。



お靈供膳



理事会の活動

一月三十一日 大安寺
一階大広間において理事
会・総会が行われました。
・平成二十三年度 大安
寺護寺会決算報告
・平成二十四度 大安寺
護寺会予算案の報告
・護寺会費払込手数料負
担に関する事
・護寺会会則の改定につ
いて
以上について承認されま
した。



婦人会の活動

四月一日 婦人会の總
会が行なわれ、今年度の
活動方針も決まりました。
お寺の行事に合せた活
動は、ほんとうに御苦勞
様です。

お寺の行事に合せた活
動を続け、更に地元・地
方への研修会に参加して
の活動御苦労様です。

梅花講の活動



水道管の取替工事

大安寺一階厨房、二階
流し等の水管が古くなり
全て取替をいたしました。



○梅花講では多くの参加
者を募っています。

命日。 每月の命日も母の亡
くなつた日に変わつた。
遠くで御世話になつた坊
様が、懐かくなる

妻が同じ事をする。
母が死んでからは、
妻が思い出す。

私が子供の頃は、祖
母の命日に坊様が毎月
来て仏壇の前でお参り
をした。
お参りが終わると坊
様はゆつくり話をして
帰る。

命日

廊下・階段の絨毯が新しくなりました。
納骨堂の一階から三階、

納骨堂のシート取替



地域の子育て支援のため、お寺の施設を開放し、小学生低学年（小学一年生・二年生）を対象に学童保育を毎日実施しています。

学童保育

月牌
日牌



ご希望のご尊家様は、
・日牌（毎日のご供養）
・月牌（月命日のご供養）
のいずれかをお選び頂けます。

朝のおつとめの折に、
ご尊家・ご先祖様のご供養をいたします。

永代供養



五月十二日午後六時より、クアルテット・エクセルシオを迎え、チャリティーコンサートが行われました。今回で四回目のクアルテット・エクセルシオは、大安寺ではおなじみです。お寄せ頂いた浄財は、東日本大震災遭兒の教育基金に全額寄付致します。

大安寺 チャリティーコンサート

◎護寺会の会費については、自動振替になります。引落しは毎年四月二十日になっています。また、納骨堂維持費も自動振替になっています。平成二十五年度から護寺会費の納入について、引落しをしない方は納入手数料の負担をすることになります。

◎檀信徒の皆様に今年配布された平成二十四年度法要のご案内の中で、⑧秋彼岸会の日程が九月二十三日になっていますが、九月二十二日に変更です。

お知らせ

- 七月二十四日(火)午前十一時 地蔵供養祭
- 八月十六日(木)午後一時 孟蘭盆会
- 九月三日(月)午後六時 両祖報恩会 正當
- 九月四日(火)午前十時 両祖報恩会 速夜
- 九月二十二日(土)午後一時 秋彼岸会・水子供養
- 十二月八日(土)午後一時 祀尊成道会

大安寺 七月、九月の行事